

北島中学校 保護者の皆様へ

北島町立北島中学校長 松本 賢一

令和7年度学校評価結果について（報告）

平素より、本校教育にご理解ならびにご支援をいただき、誠にありがとうございます。さて本校の教育を向上させていくために学校評価を実施しましたが、その結果についてご報告いたします。なお、本校ホームページ上にも掲載しておりますのでご覧ください。今後は、この結果も踏まえて学校経営に生かしていこうと考えておりますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※割合は「当てはまる」と「ほぼ当てはまる」の合計で、同割合のものは、達成率の高い項目は「当てはまる」の割合高い項目から、達成率が低い項目は「当てはまる」の割合が低い項目から順に記載しています。

【1年生】

○生徒結果 ①達成率の高い項目

	質問内容	割合
1	学校行事や学年行事は思い出に残るよい体験となっている	98.3%
2	いじめ・暴力は許さず、好ましい友人関係をつくっている	97.2%
3	学校生活の様々な場面で道徳について学習し、命の大切さや家族への感謝の気持ちを学んでいる	96.6%
4	学校では、授業でコンピューターやタブレットなどのデジタル機器を使っている	95.0%
5	学校生活は楽しい	94.9%

②達成率の低い項目

	質問内容	割合
1	「朝の読書の時間」や休み時間、家庭で読書に取り組んでいる	61.8%
2	郷土（北島町や徳島県）が好きで、地域の活動に積極的に関わっていきたいと思っている	62.4%
3	自分の進路について考え、目標を持って生活できている	70.8%
4	毎日、計画的に家庭学習に取り組んでいる	78.1%
5	たくましく・しなやかな心と体になるよう、運動などを生活に取り入れている	81.5%

○保護者結果 ①達成率の高い項目

	質問内容	割合
1	学校は授業でコンピューターやタブレットなどのデジタル機器を使っている	96.4%
2	学校は交通安全・自然災害・不審者・感染症への対応など、安全指導に努めている	94.3%
3	お子様は、楽しく学校生活を送っている	93.8%
4	学校は、学校・学年だよりやホームページ、マチコミメールなどを活用し、積極的に情報を伝えている	93.8%
5	お子様は、学校で先生や友だちと、お互いを思いやったよい関係をつくっている	93.2%

②達成率の低い項目

	質問内容	割合
1	お子様は、郷土（北島町や徳島県）が好きで、地域の活動に積極的に関わっていかうと思っている	43.0%
2	お子様は、環境を保護するために、自分にできることに取り組んでいる	63.8%
3	お子様は、学校生活の様々な場面で人権について学習し、同和問題などの人権課題を解決しようと考えようになっている	72.1%
4	お子様は、たくましく・しなやかな心と体になるよう、運動などを生活に取り入れている	73.1%
5	お子様は、学校で、地域の歴史や文化について学べる機会がある	75.1%

【2年生】

○生徒結果 ①達成率の高い項目

	質問内容	割合
1	学校生活の様々な場面で道徳について学習し、命の大切さや家族への感謝の気持ちを学んでいる	98.7%
2	学校行事や学年行事は、思い出に残るよい体験となっている	97.3%
3	学校の仲間と、お互いのことを思いやったよい関係でつながっている	96.7%
4	いじめ・暴力は許さず、好ましい友人関係をつくっている	96.7%
5	学校生活では、規律を大切にしている	95.3%

②達成率の低い項目

	質問内容	割合
1	「朝の読書の時間」や休み時間、家庭で読書に取り組んでいる	60.7%
2	郷土（北島町や徳島県）が好きで、地域の活動に積極的に関わっていきたいと思っている	69.4%
3	毎日、計画的に家庭学習に取り組んでいる	76.0%
4	たくましく・しなやかな心と体になるよう、運動などを生活に取り入れている	80.0%
5	学校では、地域の歴史や文化について学ぶ機会がある	81.3%

○保護者結果 ①達成率の高い項目

	質問内容	割合
1	お子様は、学校生活での規律を大切にしている	94.8%
2	お子様は、楽しく学校生活を送っている	94.3%
3	学校は交通安全・自然災害・不審者・感染症への対応など、安全指導に努めている	94.2%
4	お子様は、学校生活の様々な場面で道徳について学習し、命の大切さや家族への感謝の気持ちを学んでいる	93.6%
5	学校は、授業でコンピューターやタブレットなどのデジタル機器を使っている	93.6%

②達成率の低い項目

	質問内容	割合
1	お子様は、郷土（北島町や徳島県）が好きで、地域の活動に積極的に関わっていかうと思っている	52.9%
2	お子様は、環境を保護するために、自分にできることに取り組んでいる	69.5%
3	お子様は、たくましく・しなやかな心と体になるよう、運動などを生活に取り入れている	74.7%
4	お子様は、学校生活の様々な場面で人権について学習し、同和問題などの人権課題を解決しようと考えようになっている	75.9%
5	お子様は、情報活用能力（コンピュータ操作など）や情報モラル（パソコンやスマホの正しい使い方）を身につけている	79.8%
5	学校は、学年に応じて職業や進路についての適切な指導や情報提供をしている	79.8%

【3年生】

○生徒結果 ①達成率の高い項目

	質問内容	割合
1	いじめ・暴力は許さず、好ましい友人関係をつくっている	98.9%
2	学校生活の様々な場面で道徳について学習し、命の大切さや家族への感謝の気持ちを学んでいる	98.3%
3	学校生活では、規律を大切にしている	97.2%
4	学校行事や学年行事は、思い出に残るよい体験となっている	96.7%
5	学校の仲間と、お互いのことを思いやったよい関係でつながっている	96.2%

②達成率の低い項目

	質問内容	割合
1	「朝の読書の時間」や休み時間、家庭で読書に取り組んでいる	45.9%
2	郷土（北島町や徳島県）が好きで、地域の活動に積極的に関わっていきたいと思っている	64.5%
3	たくましく・しなやかな心と体になるよう、運動などを生活に取り入れている	69.4%
4	学校では、地域の歴史や文化について学ぶ機会がある	70.5%
5	環境を保護するため、自分のできることに取り組んでいる	84.7%

○保護者結果 ①達成率の高い項目

	質問内容	割合
1	学校は交通安全・自然災害・不審者・感染症への対応など、安全指導に努めている	97.3%
2	お子様は、学校で先生や友だちと、お互いを思いやったよい関係をつくっている	96.3%
3	お子様は、学校生活での規律を大切にしている	95.2%
4	お子様は、楽しく学校生活を送っている	95.1%
5	学校は、授業でコンピューターやタブレットなどのデジタル機器を使っている	94.7%

②達成率の低い項目

	質問内容	割合
1	お子様は、郷土（北島町や徳島県）が好きで、地域の活動に積極的に関わっていかうと思っている	46.8%
2	お子様は、たくましく・しなやかな心と体になるよう、運動などを生活に取り入れている	56.9%
3	お子様は、環境を保護するために、自分にできることに取り組んでいる	73.1%
4	お子様は、学校で、地域の歴史や文化について学べる機会がある	73.6%
5	お子様は、学校生活の様々な場面で人権について学習し、同和問題などの人権課題を解決しようと考えようになっている	81.1%

【教職員】

①達成率の高い項目

	質問内容	割合
1	生徒に毅然とした態度で厳しく指導し、普段はあたたかく接している	100%
1	服務規律の確保と不祥事防止の研修を実施し、コンプライアンス意識の高揚に努めている	100%
3	全教職員が共通理解を図り、すべての教育活動を実践している	97.8%
3	交通安全・自然災害・不審者・感染症への対応など、安全指導に努めている	97.8%
5	すべての教育活動で教員と生徒、生徒同士が豊かな言葉でつながる工夫をしている	97.7%

②達成率の低い項目

	質問内容	割合
1	個別の指導計画を作成し、個に応じた支援を行っている	66.7%
2	地域の歴史や文化を学ばせる機会をつくり、郷土（北島町や徳島県）が好きで大切に思う生徒を育てている	73.4%
3	授業でコンピューターやタブレットなどのデジタル機器を活用している	82.2%
3	教科や給食指導などで、食育を推進している	82.2%
3	授業では、応用力や活用力を高める課題を取り入れている	82.2%

《考察》

①達成率の高い項目

◎生徒

生徒全体を見ると、26の質問項目のうち、16の質問項目で90%以上の肯定的な回答をしており、達成率が高い。生徒たちは全体的に落ち着いた学校生活を過ごしており、学習や運動への意欲も高く、素直で優しい生徒が多い。学校行事や学年行事にも一生懸命取り組み、思い出に残る体験をたくさん積んでいるように思われる。そのような状況から全体的に高い数値となって表れているように思われる。昨年度と比較すると、「学校では、授業でコンピューターやタブレットなどのデジタル機器を使っている」は8.6%増加しており、各授業においてGIGAスクール構想を意識し

た教育活動が実践されている結果である。「先生のことを信頼し、困ったことがあれば相談できる」は4.1%増加しており、普段から教職員と生徒の温かい人間関係が互いの信頼に基づき、しっかりと築かれているからであると考えられる。

◎保護者

保護者全体を見ると、23の質問項目のうち、17の質問項目で80%以上の肯定的な回答をしている。「学校は、交通安全・自然災害・不審者・感染症への対応など、安全指導に努めている」、「お子様は、楽しく学校生活を送っている」、「お子様は、学校で先生や友だちと、お互いを思いやったよい関係をつくっている」の項目が高い数値となっている。学校が生徒にとって安心安全な場となっており、教職員が一丸となって「子どもファースト」で様々な教育活動に取り組んできた成果が保護者にも伝わっていると考えられる。昨年度と比較すると、「学校は、授業でコンピューターやタブレットなどのデジタル機器を使っている」が6.5%増加しており、学校での取組が家庭でも認識されていることが分かる。

◎教職員

29の質問項目のうち、15の項目で90%以上の肯定的な回答をしている。そのことから教職員一人一人が、学校教育目標である「自ら学び、心豊かで、たくましくしなやかに未来を生き抜く生徒の育成」を目指し、生徒とともに心の通う教育活動に日々取り組んでいる結果である。中でも「服務規律の確保と不祥事防止の研修を実施し、コンプライアンス意識の高揚に努めている」の項目は100%であり、日頃から機会を捉え、コンプライアンス研修に努めるとともに、教育公務員としての自覚をもった生活を送っていることが分かる。昨年度と比較すると、「全教職員が共通理解を図り、すべての教育活動を実践している」の項目のみ増加している。教職員の話し合いの場である職員会等がしっかりと機能を果たしており、共通理解のもとそれぞれが教育活動に励んでいることが分かる。

②達成率の低い項目

◎生徒

肯定的な回答が80%未満は、26質問項目のうち、5項目あった。その中で最も低い項目は、「朝の読書の時間や休み時間、家庭で読書に取り組んでいる」(56.1%)であり、昨年度より2.8%低くなっている。学校の取組として毎月必ず読書週間を設けていたり、学校図書館が生徒玄関に近かったりと読書をする環境は整っている。また、学校図書館での貸出冊数は毎年2000冊を超え、高値を維持している。にもかかわらず、肯定的な回答が低いのは、読書をする生徒としない生徒の二極化傾向が見られるように思われる。1人で30冊以上借りる生徒がいる一方、学校図書館へ行ったことがない生徒もいるという現状がある。読書をする生徒を少しでも増やすため、図書館司書による「図書館だより」の発行や文化祭での展示、本に触れる機会をもつための企画など、読書に興味をもつことができる取組を今後も行っていきたい。

◎保護者

「お子様は、郷土（北島町や徳島県）が好きで、地域の活動に積極的に関わっていこうと思っている」の項目が47.4%と達成率は低い。学校全体としては、地域の行事へのボランティア参加、町主催による講演会への参加、2年生での職場体験、吹奏楽部のイベントへの出演など地域と関わる機会は多数ある。しかし、そのことがあまり保護者に伝わっていないように思われる。これからも活動内容について、ホームページやマチコミメールなどを通して頻繁に発信したり、生徒が体験したことを家庭で語ったりできるなど、家庭を巻き込んでいけるような情報発信を継続していきたい。

◎教職員

達成率が80%未満の項目は、「個別の指導計画を作成し、個に応じた支援を行っている」、「地域の歴史や文化を学ばせる機会をつくり、郷土が好きで大切に思う生徒を育てている」であった。全教職員が個別の指導計画を作成しているわけではないので、他の質問と比べて低かったと思われる。また、地域の歴史や文化を学ばせる機会についても、限られた時間の中で教育活動を行っているため、工夫をしていく必要があると思われる。小学校と連携を図りながら、まずは地域に様々な歴史や文化があることを教師自ら学ぶことが大切であると思われる。地域にいる素晴らしい人材を把握し、その方々に協力を仰ぎながら生徒に学ばせる機会をもつことを進めていくことが望ましいと考えられる。今後も一人一人に応じた支援体制を構築するとともに、自分の学校や北島町に愛着をもつことのできる生徒を育成していきたい。